



2021年11月26日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
 会 社 名 RIZAP グループ株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
 問 合 せ 先 取締役 鎌 谷 賢 之
 電 話 番 号 03-5337-1337
 U R L <https://www.rizapgroup.com/>

過年度の有価証券報告書等および決算短信等の訂正に関するお知らせ

当社は、過去に提出した下記の有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局に提出するとともに、決算短信等につきましても訂正いたしますので、お知らせいたします。

株主・投資家の皆様をはじめお取引先および関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしますことをお詫び申し上げます。

記

1. 訂正の概要

このたび、当社は、過去に提出した有価証券報告書・決算短信等につきまして訂正をいたしますが、連結財務諸表における影響の概要は以下の通りとなります。

(単位：百万円)

	第 16 期(2019 年 3 月期)通期			第 17 期(2020 年 3 月期)通期			第 18 期(2021 年 3 月期)通期		
	訂正前 (a)	訂正後 (b)	影響額 (b-a)	訂正前 (a)	訂正後 (b)	影響額 (b-a)	訂正前 (a)	訂正後 (b)	影響額 (b-a)
売上収益	222,500	221,503	△997	202,934	201,734	△1,200	169,649	168,876	△773
営業利益	△9,388	△9,546	△158	△752	△959	△207	1,241	1,490	249
当期利益	△21,729	△21,744	△15	△5,491	△5,271	220	1,826	1,933	107
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△19,393	△19,423	△30	△6,046	△5,831	215	1,556	1,608	52

2. 訂正の経緯、理由および再発防止策

当社は、第 14 期（2017 年 3 月期）の有価証券報告書より国際財務報告基準（以下、IFRS）に準拠した連結財務諸表等を作成しております。

また、当社では、持続的成長に向けた経営基盤の強化のための施策を実施しており、その中の 1 つとしてグループ全体でさらに踏み込んだ業務改革を実施する必要があるとの認識から、「B P X（ビジネス・プロセス・トランスフォーメーション）」プロジェクトを推進しております。

この方針のもと、当社グループにおいては、間接業務を含むグループ全体のあらゆる業務のベストプロセス化（高位標準化）、生産性の向上、経営管理体制の強化等について取り組んでまいりました。経理機能におきましても、グループ共通の勘定科目等の統一、会計システム等の順次統合、経理担当者の業務工数の分析を通じた業務合理化などの施策を推進し、加えて、グループ各社の経費の追加削減を進めるため、総勘定元帳・経理伝票の総見直しを進めてまいりました。

この一連の取組みの中で、今期 2022 年 3 月期の上期（2021 年 4～9 月）において、当社グループの連結子会社における経費の発生状況・会計処理状況の再点検を行っていたところ、2019 年 4 月より適用された IFRS 第 16 号「リース」の適用開始時点での会計処理を検討する際に、当社の連結子会社であった(株)ワンダーコーポレーション（現在、当社連結子会社 REXT(株)の子会社）から提出されたリース契約に関する報告から、一部の賃貸借契約が漏れていたこと等が、上記当社の会計処理の再点検において判明いたしました。これは連結子会社に点在する経理部門から IFRS 第 16 号「リース」の適用に向けてリース契約に関する情報収集の際に対象とすべきリース契約についての認識が十分に共有されていなかったこと、リース契約に関する情報収集の業務手順が不十分であったことにより適用対象となる契約の網羅性が確保されていなかったことに起因するものであります。

これら当社側での確認結果を踏まえ、今期および過年度の連結財務諸表等に影響を及ぼす可能性があるると判断し、監査法人と協議を行い、IFRS 第 16 号を含む会計処理を再確認した結果、第 16 期通期（2019 年 3 月期）以降についての連結財務諸表等の訂正をすることといたしました。また、その他記載事項についても、当社にて確認を行ったところ、IFRS 第 16 号適用開始前の期である第 14 期（2017 年 3 月期）から第 18 期（2021 年 3 月期）において、連結財務諸表注記の法人所得税注記等の記載についての誤りがあり、これら注記についても過年度の有価証券報告書等にて訂正をしており、さらに、過年度の連結決算において、重要性がないため訂正を行っていなかった他の未修正事項の修正もしております。

当社といたしましては、今後このような訂正開示を行うことがないよう、当社グループの連結子会社における経理部門社員の RIZAP ビジネスイノベーション(株)（当社連結子会社：企業のバックオフィス業務の受託等）への集約による経理機能の強化、経理部門のさらなる専門知識の向上、IFRS 第 16 号を中心とした連結決算手続きにおける業務手順の見直しを図り、再発防止の徹底に努めてまいります。

3. 訂正報告書を提出する有価証券報告書及び四半期報告書

(1) 有価証券報告書

第 14 期(自 2016 年 4 月 1 日 至 2017 年 3 月 31 日)

第 15 期(自 2017 年 4 月 1 日 至 2018 年 3 月 31 日)

第 16 期(自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日)

第 17 期(自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)

第 18 期(自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日)

(2) 四半期報告書

第 17 期第 1 四半期(自 2019 年 4 月 1 日 至 2019 年 6 月 30 日)

第 17 期第 2 四半期(自 2019 年 7 月 1 日 至 2019 年 9 月 30 日)

第 17 期第 3 四半期(自 2019 年 10 月 1 日 至 2019 年 12 月 31 日)

第 18 期第 1 四半期(自 2020 年 4 月 1 日 至 2020 年 6 月 30 日)

第 18 期第 2 四半期(自 2020 年 7 月 1 日 至 2020 年 9 月 30 日)

第 18 期第 3 四半期(自 2020 年 10 月 1 日 至 2020 年 12 月 31 日)

第 19 期第 1 四半期(自 2021 年 4 月 1 日 至 2021 年 6 月 30 日)

4. 訂正を行う決算短信及び四半期決算短信

(1) 決算短信

2019 年 3 月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2020 年 3 月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2021 年 3 月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

(2) 四半期決算短信

2020 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)
 2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)
 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)
 2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)
 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

5. 訂正による過年度の連結業績への影響額

(単位：百万円)

期間	項目	訂正前(a)	訂正後(b)	影響額 (b-a)
第16期(2019年3月期) 通期	売上収益	222,500	221,503	△997
	営業利益	△9,388	△9,546	△158
	当期利益	△21,729	△21,744	△15
	親会社の所有社に帰属する 当期利益	△19,393	△19,423	△30
	資本	54,791	54,777	△14
	資産	180,306	180,271	△35
第17期(2020年3月期) 第1四半期	売上収益	53,501	53,261	△240
	営業利益	1,482	1,362	△120
	四半期利益	364	553	189
	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△140	△21	119
	資本	40,704	39,077	△1,627
	資産	216,302	218,431	2,129
第17期(2020年3月期) 第2四半期	売上収益	108,286	107,854	△432
	営業利益	2,709	2,866	157
	四半期利益	815	1,319	504
	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△66	347	413
	資本	40,870	39,830	△1,040
	資産	208,036	209,462	1,426
第17期(2020年3月期) 第3四半期	売上収益	156,795	155,917	△878
	営業利益	4,385	4,557	172
	四半期利益	683	1,178	495
	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△486	△48	438
	資本	40,330	39,228	△1,102
	資産	193,489	197,228	3,739
第17期(2020年3月期) 通期	売上収益	202,934	201,734	△1,200
	営業利益	△752	△959	△207
	当期利益	△5,491	△5,271	220
	親会社の所有者に帰属する 当期利益	△6,046	△5,831	215
	資本	33,642	32,667	△975
	資産	180,218	182,681	2,463

期間	項目	訂正前(a)	訂正後(b)	影響額 (b-a)
第18期(2021年3月期) 第1四半期	売上収益	37,847	37,730	△117
	営業利益	△2,437	△2,434	3
	四半期利益	△2,988	△3,095	△107
	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△2,789	△2,893	△104
	資本	30,560	29,479	△1,081
	資産	173,507	176,016	2,509
第18期(2021年3月期) 第2四半期	売上収益	85,276	84,866	△410
	営業利益	△498	△492	6
	四半期利益	△1,839	△1,880	△41
	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△1,851	△1,902	△51
	資本	31,774	30,759	△1,015
	資産	173,830	176,295	2,465
第18期(2021年3月期) 第3四半期	売上収益	130,022	129,303	△719
	営業利益	2,769	2,713	△56
	四半期利益	475	384	△91
	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	△210	△301	△91
	資本	34,193	33,127	△1,066
	資産	167,913	170,215	2,302
第18期(2021年3月期) 通期	売上高	169,649	168,876	△773
	営業利益	1,241	1,490	249
	当期利益	1,826	1,933	107
	親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,556	1,608	52
	資本	36,435	35,421	△1,014
	資産	159,248	161,286	2,038
第19期(2022年3月期) 第1四半期	売上収益	39,059	39,019	△40
	営業利益	909	923	14
	四半期利益	196	254	58
	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	166	192	26
	資本	36,565	35,756	△809
	資産	151,699	153,422	1,723

以 上